

輝く
先輩
No. 24



日本と スロベニア での生活

昭和飛行機工業株式会社

やざわあき
矢澤亜季さん

2013年度現代文化学部卒業

現在の仕事

私は現在、東京都昭島市にある「昭和飛行機工業株式会社」に所属し、カヌースラローム選手として競技生活を送っています。2015年2月に、今所属している会社へ入社して以来、オリンピックでのメダル獲得を目標に練習をしています。

現在の私の仕事は、基本的に試合で結果を出すことです。そのための練習を優先して行わせてもらっています。会社へ入社するときは、会社主催のカヌー体験イベントなどで講師となり、イベントに参加してくださった方々へカヌー競技を広める活動を行っています。

私は2017年より練習拠点を日本からスロベニアへ移し練習を行っており1年の半分以上はスロベニアを含む、ヨーロッパにて海外生活を送っています。

私の練習のスケジュールは、1日のOFFが日曜日にあり、その他は身体の疲労の度合いにより半日OFFが1回あります。それ以外は、午前約2時間・午後約2時間の水上練習と陸上やウエイト練習があります。

カヌースラロームの魅力や練習拠点について

みなさんは「カヌースラローム」という競技をご存知でしょうか？

2016年のリオデジャネイロ五輪ではカヌースラロームカナディアンシングルで銅メダルを獲得した羽根田卓也選手のおかげもあり、カヌースラロームという競技の知名度が上がったことで、ご存知の方が多いのではないでしょうか。

カヌースラローム競技はカヌースラローム専用で作られた人工コースに、不規則に設置された18～25個のゲートをスタートから順に通過しゴールまでの所要タイムで競う競技です。



2019年10月NHK杯 競技の様子

ゲートへ接触した場合2秒、ゲートを通り過ぎできなかった場合50秒が自分のゴールタイムへ加算され、どれだけミス無く速くゴールできるかを競います。

カヌースラロームの魅力は、自分だけのボートで水上を自由に操作できることと、人工で作られた大きな流れの中を下るのでジェットコースターのような爽快感を味わうことができます。

先ほど、私は練習拠点をスロベニアへ移し海外生活を送っていると述べましたが、なぜ日本からスロベニアへ練習拠点を移したかという、1つ目の理由は、日本代表コーチにスロベニア人のコーチがいること。2つ目は、2019年7月まで日本にはカヌースラローム専用人工コースがなく、常に自然の川で練習しなければならない環境であったため、レベルアップが難しかったからです。スロベニアでは、海外のトップ選手たちも練習を行っています。そのようなトップ選手と混ざって練習することができ、かつ人工コースが整備されているので、拠点を移すことを決断したのは間違っていないかと思っています。

駿河台大学在学中のこと

私は在学中も遠征が多く、あまり授業や行事に参加できていませんでしたが、授業を受けることができる日はとても楽しみに大学へ通っていました。また、授業を受けられない時は、担当の先生のところへ行き事情を話し、レポートで代行をしていただいていた。駿河台大学に在籍している先生方は競技優先の私のことを理解してくれる方が多かったため、在籍中はとても助かり、競技に集中することができました。

長期で授業を休むことも多かったため、休み明けに授業に出席した際は内容が全く分からないときもあり、内容を理解するのはとても大変でしたが、単位を取得するために授業中は必死でノートを取っていました。今ではとても良い思い出です。

これからのこと、目標について

私は、2019年10月に今年の東京オリンピック出場が内定しました。オリンピック出場は前回のリオデジャネイロオリンピックに続き、2度目となります。東京オリンピックでは、日本や世界中の応援してくださる方の声援をしっかりと力に変えて戦いたいと思います。また、1人でも多くの方に「カヌー競技」を知ってもらえるように、オリンピックや世界大会で良い成績を残したいと思っています。

現在も日本にいる時は、駿河台大学の調整池や、トレーニングセンターにて練習しています。大学内で見かけたときは、是非、是非！話しかけていただくと嬉しいです。東京オリンピックでは皆様の応援、よろしくお願いたします。

Profile

長野県出身。東野高校卒業。
2010年 駿河台大学現代文化学部に入学
2015年 昭和飛行機工業株式会社入社
2016年 リオデジャネイロオリンピック出場
2019年 東京オリンピック出場内定